

アジア3都市で 脱炭素連携支援

オリコンサルら
環境省事業に採択

オリエンタルコンサルタ
ンツと3政令市が、環境省
の2022年度「脱炭素社
会実現のための都市間連携
事業委託業務」に共同提案
し採択を受けた。モンゴル、
インドネシア、フィリピン
の3都市で環境関連の技術
や制度の導入を支援する。
同社は各地域の課題抽出や
日本の自治体が保有する技

術・ノウハウとのマッチン
グ、仕組みづくりを助け、
海外都市の脱炭素化に貢献
する。

事業は同省が公募し、そ
れぞれ3カ年計画で実施す
る。オリコンサルは札幌、
川崎、大阪の3市と共同提
案した。▽モンゴル・ウラ
ンバートル市と札幌市▽イ
ンドネシア・バンドン市と
川崎市▽フィリピン・ケソ
ン市と大阪市―が連携し、
各地域の課題に応じて省エ
ネや脱炭素につながる制度
設計や設備導入を進める。

このうち本年度に事業着
手するケソン市では温室効
果ガス排出源の大部分を占
める建物、交通分野で支援
を展開する。建築物のエネ
ルギー管理や交通事情対策
を促し、大気汚染の改善を
目指す。

連携事業は13年度に開
始。今回の採択を含めこれ
までに国内の19自治体と、
アジアを中心に13カ国の43
都市・地域が参画している。
22年度は23件の応募があ
り、20件が採択された。